

Friendship

The Friendship Force of Kumamoto 会員誌 2020 年総会報告・2019 年渡航

2020年第36回総会報告

・第1号議案

2019年事業報告

・受入:エドモントン(カナダ)

HC=濱地蘭子

アンバサダー=15名(最高齢92歳)

ホスト家庭=高島義彰、倉橋恭加、濱地蘭子、高木順子

渡辺絵美、北野美紀、緒方富規子、津田弘徳(順不同)

デイホスト=森田タダシ、相津美幸、山下佳介、入江信子、島添景子

與繩恭子、増山順子、早田幹雄・京子(順不同)

熊本 3/27(水)~4/2(火)

日程の詳細は別途資料1参照

・渡航:ウィーン(オーストリア)

AC=高島義彰

アンバサダー=高島義彰・留美、松本郁子、寺脇由里子

村上千幸・桂子、水野春子、濱地蘭子益尾美奈子、

緒方富規子・愛子・デイビット(順不同)

5/31(金)~6/9(日) ウィーンにてホームステイ後ヘルシンキ観光

・第21回西日本ブロック会議 福岡クラブ担当

10/27 08:30~09:00

福岡で開催予定も台風で中止だったため、日本大会の直前に開催

出席:入江栄俊、早田京子、前田聖子

・第31回日本大会 静岡クラブ担当

10/27 9:30~12:00(代表者会議)

13:00~17:00(全体会議)

17:40~19:00(懇親会)

会場:グランディエール ブケトーカイ

出席:入江栄俊、入江信子、早田幹雄、早田京子、與繩英二、與繩恭子

前田聖子、相津美幸、濱地蘭子、廣瀬和彦

FFI世界大会

熊本からの参加なし

・第2号議案

2019年決算報告及び会計監査報告

会計濱地蘭子さんより2019年の決算報告。これに続いて森田寔史・岡本允子監事を代表して森田さんより、「すべて適正に処理してあった」との監査報告を受け、拍手で承認されました。

・第3号議案

2020年事業計画

受入:シャイアン(アメリカ)

HC=森本康文

4/22(水)~4/28(火)

アンバサダー15名(2カップル、7シングル)

渡航:サンタバーバラ(アメリカ)

AC=未定

10月末出発予定

西日本ブロック会議 鳥取クラブ担当

予定していた日程が日本大会と近かったため中止

日本大会 熊本クラブ担当

10/4 代表者会議、全体会議、懇親会

10/5 エクスカーション

・第4号議案

その他

今年の熊本で開催予定の日本大会へのご協力を依頼

1月の総会開催時は
第3号議案及び第4号議案は承認されましたが、
新型コロナウイルス感染症の影響で2020年の渡航及び受入は中止、日本大会(IN熊本)は延期となりました。

フレンドシップフォース熊本！HPリニューアルしました！

会計の濱地様のご協力のもとHPリニューアルしました。
ぜひ、<http://ffkumamoto.org/>にアクセスをお願いします。



friendship force
KUMAMOTO

こちらのQRコードからもアクセス
可能です。☞



ウィーン渡航報告

2019 5.31~6.9



昨年FF熊本はウィーンへ渡航しました。

ウィーンのクラブは小さいクラブで、受け入れ人数も10人限定でしたが、憧れのウィーンで楽しい時間を過ごされたようです。ウィーンでのホームステイ後はヘルシンキでの観光をしています。



今回はウィーンとフィンランド。5月31日福岡発6月9日同着。ウィーン6日のホームステイとヘルシンキ2泊。参加者は9人（村上千秋・桂子夫妻、濱地蘭子・寺脇百合子、水野春子・松本郁子、緒方富貴子、高嶋留美・義彰）とウィーンで合流のドイツ在住の緒方さんの娘さん愛子さん親子（男の子3才）。ACは高嶋。私たちのホストはHerta Hegerさん。80前ぐらいか。石造りのアパートの3階。2つある部屋の1つが私たちの部屋。集合場所になるオペラハウスまでは、アパートから10分ぐらい歩いて、電車で3、4駅ぐらいの所。オペラハウスは大変な混雑で、入場料を払って、ガイド付きの見物だけ。近くにステファン大聖堂が聳えていました。音楽を聴いたのは別のところで、モーツァルトとヨハン・シュトラウス、それに歌曲。オーケストラと観客が日本でのよりより近い感じがしました。美術館ではクリムトが人気でその部屋に入るのに、列に並んで待つて見物。有名な絵の前では人ばかりでした。またシェンブルンの離宮もすごかったです。今回はそれぞれで行動する機会もあり、私達は市内が一望できる所にバスで登って、その帰りにブドウ園に寄って、ワインを楽しむことが出来ました。またザルツブルグに行かれたグループもありました。外国に行くと、右も左も分からず、言葉が分かったり、その地のことを知っている人がいれば大いに助かる。今回は愛子さんに大変お世話になりました。Farewellは街から一寸外れた所のビアガーデンみたいな所。それぞれに料理を注文してビールかワイン。愛子さんの伴奏で歌（さくら・森山直太郎）等を歌ったり、愛子さんの演奏を聞いたりしました。私は最後にサンキューみたいな事を二言三言。

ヘルシンキでは着いた日に、専用バスで日本語のガイドさんの案内で観光。その後グループで街に出て、買い物したり、スーパーで夕食を買ったりしました。二日目は朝から皆で船に乗って15、6分ぐらいか、島に渡り観光。港に戻って、出店を見たり、写真を撮ったりして、また皆でわいわいしながらビールを飲んだりしながら昼食。ホテルに戻って迎えに来てくれた日本人の方に案内してもらって空港に行き、無事に帰国することが出来ました。

皆さん海外旅行経験豊富な方ばかりで、私のACとしての出番はほとんどありませんでした。とにかく全員無事に帰国することが出来ました。FF熊本をはじめたくさんの方々大変お世話になりました。また行きたいと思っています。どうぞよろしく



サウンドオブミュージック！ウィーン少年合唱団！エーデルワイス！
渡航先がウィーンだと聞き、迷うことなく参加を希望しました。

音楽好きな同級生とのホームステイは初めての経験でしたが、お互いの性格を再発見する楽しい旅ともなりました。

ホストのIrmgardは郊外の一軒家に住む一人暮らしで、教師をしていた彼女はリタイヤした今でも、子供の育成活動をしていました。家の中ではモーツアルトやベートーベンの曲が流れており、私達を優雅な気分させてくれました。また広い庭は手入れが行き届いており、鳥のさえずりを聴きながらのティータイムは格別でした。夜になると、虫の音と共にカエルの合唱が聞こえ、朝は近所のニワトリの鳴き声で目が覚めました。

料理上手なIrmgardはオーストリアの代表料理ウィナーシュニッツェルを作ってくれました。「本場の味は違うね～」と大喜びした私達を、笑って見ていた彼女は帰る日‘シュニッツェル専用パン粉’をお土産にくれました。

後日、友人達と本場の味を楽しみながら、思い出話に花を咲かせました。

驚いたのは白ワインの水割り 「水がわりに飲むのよ」とコップに入れて勧められました。ワイン好きな友人は「I like it」と言って飲んでいましたが本心かどうかは分かりません。

予想に反しての異常な暑さで、持参した洋服の半分は出番がなかったのですが、デイホストに借りた帽子をかぶり、散策した市街地や観光地は思い出深いものとなりました。暑さのあまりスタバに飛び込み、注文したオリジナルドリンクが非常に不味くて失敗しましたが、それもこれも忘れられない一コマとなりました。観光地の素晴らしさは言うまでもありませんが、メンバーの一人である愛子さんのバイオリン演奏は、ウィーンの旅に彩りを添えてくれました。

こんな旅をさせてくれたFF熊本、同行したメンバー、そして私の同級生に感謝です。





初めてのホームステイ

寺脇由里子

初めてホームステイに参加させていただきました。

私は音楽がとても好きなので、ウィーンの旅をとっても楽しみにしていました。行く前はドキドキだったホームステイも、ホストの方々の温かい歓迎で不安も解消、観光もゆっくり時間をかけて歩いて、一味違ったウィーンを感じることができました。

私たちが泊ったところは、ウィーン市街地から少し離れたところでしたので、また違った風景もあり、とても素晴らしいところでした。夕暮れ時、広いお庭を眺めながらワインを飲み、いろいろなお話をしたのを今も思い出します。

ウィーンの人々は気軽にコンサートに行くそうで、ザルツブルグの帰りに、今からウィーンのコンサートに行くというホストの方が、一緒の電車でウィーンまで送ってくださいました。こんなに音楽が身近にあってちょっとうらやましい気がしました。

日本に帰ってからはしばらくしてシェーンブルン宮殿でのウィーンフィルの野外コンサートの放送があり、素晴らしかったのでそのお話をメールしたら、よい座席を取るために昼すぎから入場してずっと待っているそうで、これは日本と同じかも、ですね。

ホームステイの一週間は私の宝物になりました。

ホストの方々の、自分たちでできることを分担して、頑張らないけれども心のこもったもてなしは、自分の中のボランティアの在り方を見直すきっかけになったような気がします。

本当にホームステイにご尽力くださった皆様お一人お一人に感謝申し上げます。



FFIへ緊急支援のお知らせ

新型コロナウイルス(COVID-19)緊急事態の中で、皆様ストレスと闘いながら、不自由な毎日を送られていると、拝察いたします。FF熊本も、主活動の受入はキャンセル、秋予定の渡航も厳しい状況、今年熊本が主催予定の日本大会は来年に延期になりました。世界中でこのパンデミックの影響は、先が見えない不測の事態です。

私達の本部、FFI(Friendship Force International)が未曾有の危機に直面しています！FFIは、会員の会費と渡航時のアンバサダーフィー(アンバサダー1人@US\$140)によって運営されています。

この感染拡大により、渡航中止を余儀なくされた結果、FFIは今のままの無収入状態が続けば、年内に財政破綻し、組織が崩壊する危険性があります。FFIのJeremi会長は、3月初旬からSNSを通して、世界の各クラブ会員へ寄付のお願いを呼び掛けてきています。

日本のクラブは過去にも幾多の困難な出来事があるたびに常に協力し合って、困難を乗り越えてきました。私たち熊本クラブは4年前の熊本地震の時には、世界各地、日本国内のクラブからは特に多くの支援をいただき、活動を続けることができました！

この度の出来事は過去に例のない難局ですが、なんとしても、このFFの活動が続けられますように、日本のすべてのクラブとその会員が総力を挙げて支援し、2021年には活動が再開できるようにと願っています。

熊本クラブは、創立から36年目を迎え、たくさんの交流を経験し、多くの友情が世界中につながっています。その活動、交流ができたのも、FFIのスタッフ、組織があったからです。

会員各位にご理解を願って、寄付募金をとの考えでしたが、何処のご家庭も大変な事情を抱えているときに、募金をお願いするのは難しく、厳しいとの意見で、今年度の活動費を寄付に充てることになりました。

役員会(メール、ライン)で話し合い、渡航を実施した場合のアンバサダーフィー、30万円(¥15,000×20名)(1渡航のミニマムシート20名)を、会計から支出し、寄付をすることになりました。

このコロナが一日も早く終息することを祈りますとともに、皆様どうぞ十分に気をつけてお過ごしください。

この会は皆様方の会費で成り立っております。
今回振込み用紙を同封させていただきますので、
宜しくお願い致します。





friendship force
INTERNATIONAL

令和2年4月23日

熊本クラブ
入江 栄俊会長

この度は、フレンドシップフォースの活動支援としてご寄付金を賜りまして誠にありがとうございました。

貴クラブからのご寄付により、当組織のスタッフが健全に働き、来年へと組織が維持できるよう、希望を持つことができます。深く感謝申し上げます。

世界中に COVID-19 の感染が拡大し、先の見えない不安な日々が続いておりますが、一日も早く収束し、以前のように楽しい交流が続く平和な世界に戻ることを切に願い、日本のクラブ、会員の皆様が一丸となって乗り越えていきたいと思っております。

スタッフ一同頑張っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

Jeremi Snook
President/CEO

FFI スタッフ
金元勅子



friendship force

INTERNATIONAL

Wayne Smith
Founder

Jeremi Snook
President and CEO

**BOARD OF
DIRECTORS**

**Bobbie
Mulholland**
Chair
Adelaide, Australia

Marilyn Peterson
Vice-Chair
Mid-Willamette
Valley, USA

James Permana
Treasurer
Houston, USA

**Christiane
Beaupré**
Secretary
Montréal, Canada

Krisztina Balogh
Székesfehérvár,
Hungary

Chuck Goldfarb
Washington DC, USA

Lyn Hargreave
Kalamazoo, USA

Tracy Mirembe
Kampala, Uganda

Birgit Wagner
Varel, Germany

Atik Wijayanti
Solo-Surakarta,
Indonesia

寄付金受領証明書

住所 〒861-8012 熊本市東区平山町 3231-1
名前 熊本クラブ 入江 栄俊 様

¥ 300,000

上記の金額を受領いたしました。

令和2年4月22日

Jeremi Snook
President/CEO